

平成 30 年 6 月 20 日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K04443

研究課題名(和文) 自己効力感と内発的学習意欲を重視した保幼小中連携音楽カリキュラムと指導法の開発

研究課題名(英文) Development of music education curriculum and music teaching method emphasis on cooperate of preschool, elementary school and junior high school education

研究代表者

吉富 巧修 (YOSHITOMI, Katsunobu)

広島大学・教育学研究科・名誉教授

研究者番号：20083389

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：自己効力感と内発的学習意欲を高める音楽教育方法として、「ふしづくりの教育」に着眼した。昭和40年代から昭和53年3月まで、岐阜県古川小学校で実践され大きな成果を挙げたものである。初年度では、「ふしづくりの教育」の意義・内容・史的展開等について研究した。次年度では、「ふしづくりの教育」の実際の授業がどのように実践されていたのかについて、授業の研究を行った。最終年度では、これらの2年間の成果を踏まえて、「ふしづくりの教育」の授業を実践した。

その結果、現在の音楽科教育においても、「ふしづくりの教育」は非常に有効であり、特に、就学前教育と特別支援教育において顕著であることが判明した。

研究成果の概要(英文)：As a concrete music education method to increase self-efficacy and internal motivation, I aimed at "Fusizukuri Education". It was practiced in Furukawa Elementary School of Gifu prefecture and from 1966 to 1978, gave great results. In the first year, significances, contents, and historic developments of "Fusizukuri Education" were studied. In the next year, I researched how the real classes of "Fusizukuri Education" were practiced. In the last year, I practiced the classes of "Fusizukuri Education" based on these 2-year results.

As a result, in the current music education, "Fusizukuri Education" was very effective, and a remarkable thing became clear in support education and preschool education particularly.

研究分野：音楽教育学

キーワード：音楽科の学力 「ふしづくりの教育」 わらべうた遊び 保幼小中連携音楽カリキュラム

1. 研究開始当初の背景

どのように優れたカリキュラムも、それを効果的に機能させるには、学習者の学習意欲を重視した指導法が必要である。音楽科の学力形成には、バンデュエラの提唱した自己効力感が極めて重要な機能を果たしていると考え。ところが、「ふしづくりの教育」以外の音楽科教育においては、教師主導の授業が多く、学習者の主体性や学習意欲に配慮されることは少なかった。

それに加えて、音楽科教育においては、従来から「学力」に関する議論が低調であり、ともすると「活動」あって「学力」無し、という状況であった。学習指導要領に示された最低限の学力の獲得を学習者に保障するカリキュラムも、「ふしづくりの教育」以外には存在しなかった。つまり、音楽科教育においては、教授・学習方法の側面においても、カリキュラムの側面においても、「ふしづくりの教育」以外には、注目すべき実践は皆無であった。

2. 研究の目的

このような背景を打破し、音楽科の学力構造を明確化し、それに至るカリキュラムと効果的な教授・学習方法を明らかにすることが本研究の目的である。

さらに、個別に独立して論じられることが多かった、就学前教育・小学校教育・中学校教育・特別支援教育を一貫する音楽学力の構築をめざした、体系的なカリキュラムと教授・学習方法を開発する。

3. 研究の方法

初年度には、わが国および諸外国の優れた音楽教育のカリキュラムと具体的な教授・学習方法を研究し、わが国の音楽科教育への適用の有効性を探る。さらに、「ふしづくりの教育」の歴史的・理論的研究を行う。

第2年度には、初年度の総括を行う。具体的には、諸外国の優れた音楽教育のうち、わが国の音楽科教育への導入の適否を判断し、さらに、実際の音楽の授業の流れのなかで、「ふしづくりの教育」がどのように実践されていたのかを解明するために、過去の「ふしづくりの教育」の授業研究を行う。

第3年度には、本研究の最終段階として、現在の音楽科教育を見据えた、学力構築のための提案を行い、さらに、若干の「ふしづくりの教育」の授業実践を行う。

4. 研究成果

4-1

諸外国の優れた音楽教育のカリキュラムと具体的な方法に関しては、雑誌論文で示した、スペイン・カタルーニャ州のペラアン

トン校で実践されている、ヴィレムスの音楽教育の理論と方法を研究し、ヴィレムスの楽器群を導入した。さらに、ペラアントン校で実践されている音楽とダンスの一体化した音楽教育について研究した。

4-2

「ふしづくりの教育」に関しては、雑誌論文、雑誌論文、雑誌論文、学会発表、学会発表、学会発表、学会発表、学会発表、学会発表で岡山県倉敷市立茶屋町小学校における「ふしづくりの教育」の授業研究、雑誌論文、学会発表^{②⑤}で岡山市立豊小学校における「ふしづくりの教育」の授業研究を行った。

なお、この授業研究は、一連の「ふしづくりの教育」の授業研究の最後となるものである。これ以降は、「ふしづくりの教育」の授業実践へと進む。

4-3

初年度・第2年度には、「ふしづくりの教育」に関する授業研究を重ねて、「ふしづくりの教育」の授業の諸特徴を明らかにした。最終年度には、それらの特徴を生かして、「ふしづくりの教育」の授業実践を行った。

以下の研究は、「ふしづくりの教育」の第1段階のうち「おへんじあそび」・「なまえよびあそび」・「なきまねあそび」を「わらべうたあそび」として再構成し、現在の音楽科教育における音楽科の学力達成の効果的な教授・学習方法であるかを検討する。

学会発表は就学前教育における有効性を、学会発表^{②⑥}は特別支援教育における有効性を、学会発表^③は小学校教育における有効性を検証した。

その結果、すべての校種において、短いフレーズを次々に交代し、できるだけ多数の学習者に活動の機会を提供するという「ふしづくりの教育」の教授方法は、歌唱に対する抵抗感を低減した。この教授方法は、学習者の歌声の実態を、学習者自身・他の学習者・教授者に余すところなく正確に認識させることに貢献した。これらの結果、学習者の授業参加への積極性が培われ、大きな成果が具体的に示された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 16件)

吉富 功修、三村 真弓、岡山市立豊小学校における神尾一郎教諭の「ふしづくりの教育」の実践、中国四国教育学会教育学研究紀要(CD-ROM版)、査読無、2018、63巻、pp.49-54

三村 真弓、吉富 功修、長澤 希、音楽科の資質・能力を育成する音楽遊びに関する研究 - 小学校音楽科授業におけるブームワッカーを用いた音楽活動を通

して -、中国四国教育学会教育学研究紀要(CD-ROM版) 査読無、63巻、pp.73-78
三村 真弓、グローバル人材育成をめざした音楽科授業 - 音楽文化の違いや良さを味わう音楽科の授業づくり -、学校教育、査読無、2017、1201、pp.38-43
三村 真弓、これからの音楽教育に求められるもの - 音楽科における「深い学び」とは -、学校教育、査読無、2017、1201、pp.14-21
三村 真弓、音楽性および音楽能力の発達至適時期と育成方法、子どもと発達発達、査読無、Vol.15 No.1、2017、pp.64-70
吉富 功修、三村 真弓、岡山県倉敷市立茶屋町小学校における「ふしづくりの教育」 - 明楽節夫教諭による第5学年の実践 -、音楽文化教育学研究紀要、査読無、2017、pp.3-12
吉富 功修、三村 真弓、岡山県倉敷市立茶屋町小学校における「ふしづくりの教育」 - 昭和52年11月15日の音楽授業公開の第4学年の授業 -、中国四国教育学会教育学研究紀要(CD-ROM版) 査読無、62、2017、pp.280-285
三村 真弓、吉富 功修、長澤 希、聴取力の発達に関する研究 - 音高と音色に着目して -、中国四国教育学会教育学研究紀要(CD-ROM版) 査読無、62、2017、pp.660-665
三村 真弓、子どもと音楽、子ども研究、査読無、7巻、2016、pp.3-10
吉富 功修、三村 真弓、長澤 希、岡山県における「ふしづくりの教育」 - 倉敷市立茶屋町小学校第1学年の実践(昭和52年) -、中国四国教育学会教育学研究紀要CD-ROM版、査読無、2016、61、pp.608-613
三村 真弓、吉富 功修、伊藤 真、別府祐子、音楽能力テストに関する研究 - 聴取力と感受する力の関連性に着目して -、中国四国教育学会教育学研究紀要(CD-ROM版) 査読無2016、61、pp.602-607
池田 明子、広兼 睦、掛 志穂、中山 芙充子、石井 信孝、松崎 伸一、長澤 希、石田 浩子、井上 弥、中村 和世、三村 真弓、幼小接続期におけるカリキュラムの開発 - 幼稚園教員による小学校授業への参加を通して -、学部・附属学校共同研究紀要、査読無、44巻、2016、pp.177-183
池田 明子、井上 弥、三村 真弓、幼小接続期におけるカリキュラム開発の基礎的研究 - ねらい、教材、環境構成の視点から -、乳幼児教育学研究、査読有、24巻、2016、pp.59-66
吉富 功修、三村 真弓、伊藤 真、徳永 崇、わが国の音楽科における共通教材に関する研究 - 中学校音楽科における「モルダウ」を視点として -、音楽文化教育

学研究紀要、査読無、2016、pp.15-24
三村 真弓、伊藤 真、峯 恭子、松下 友紀、吉富 功修、井本 美穂、各国の音楽カリキュラムにおける鑑賞・聴取領域の内容に関する研究 - コンテンツベース、コンピテンシーベースの視点を中心に -、音楽文化教育学研究紀要、査読無、2016、pp.5-14
三村 真弓、ラウラ・アスパウレヤ、カルメン・ナヘラ・ムルガデヤ、吉富 功修、伊藤 真、ジュゼッペ・フェラン・ガリシア、子どもが育つ音楽教育(2) - ペラアントン校におけるヴィレムスの聴取力指導、及び即興ダンス -、音楽教育学、査読無、45巻2号、2015、pp.69-73

〔学会発表〕(計28件)

吉富功修、松下 友紀、三村 真弓、「ふしづくりの教育」に関する研究 - 古川小学校中家一郎校長(昭和42年4月~50年3月)の従来の音楽教育に対する批判 - 特別支援教育・高等部重複障害学級における「ふしづくりの教育」の実践 -、平成29年度日本音楽教育学会中国四国地区例会、2018年3月3日、就実大学
長澤 希、三村 真弓、幼小中12年間一貫教育における音楽カリキュラム - 広島大学附属三原学校園の取り組み -、平成29年度日本音楽教育学会中国四国地区例会、2018年3月3日、就実大学
吉富 功修、三村 真弓、岡山市立豊小学校における神尾一郎教諭の「ふしづくりの教育」の実践、中国四国教育学会第69回大会、2017年11月25日、広島女学院大学
三村 真弓、吉富 功修、長澤 希、音楽的感覚・音楽能力を育成する音楽遊びに関する研究 - 小学校音楽科におけるブームワッカーを用いた音楽活動を通して -、中国四国教育学会第69回大会、2017年11月25日、広島女学院大学
吉富 功修、三村 真弓、「ふしづくりの教育」に関する研究(1) - 広島市立戸坂小学校の中峯悠太教諭による第3学年の実践 -、日本音楽教育学会第48回全国大会、2017年10月22日、愛知教育大学
三村 真弓、長澤 希、吉富 功修、幼稚園における音遊びで育まれる汎用的資質・能力に関する研究 - 広島大学附属三原学校園の取組に着目して -、日本音楽教育学会第48回全国大会、2017年10月22日、愛知教育大学
三村 真弓、端山 文子、坂田 豊、掛志穂、君岡 智央、中山 芙充子、広兼 睦、幼小中一貫教育における幼小接続カリキュラムの有効性に関する研究 - 広島大学附属三原学校園の取組 -、平成29年度日本教育大学協会研究集会、2017年

10月14日、刈谷市総合文化センター(アイリス)

吉富 功修、三村 真弓、藤原 志帆、「ふしづくりの教育」の実践(3) - 特別支援教育における実践を中心として -、日本教科教育学会第43回全国大会、2017年9月10日、北海道教育大学札幌校
吉富 功修、三村 真弓、長澤 希、就学前教育での「ふしづくりの教育」の実践 - 広島大学附属三原幼稚園における実践を中心として -、国際幼児教育学会第38回大会(国際学会)、2017年9月2日、国立臺北教育大學

吉富 功修、三村 真弓、福島 さやか、「ふしづくりの教育」の実践(2) - 福岡県春日市泉ヶ丘幼稚園における実践を中心として -、音楽学習学会第13回研究発表大会、2017年8月5日、埼玉大学
三村 真弓、新領域「希望(のぞみ)」と道徳教育 - 広島大学附属三原学校園の取組 -、道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業(文部科学 省採択)道徳教育の授業力向上シンポジウム(招待講演)、2017年3月5日、広島大学東千田未来創世センター

吉富 功修、三村 真弓、岡山県倉敷市立茶屋町小学校における「ふしづくりの教育」 - 昭和52年11月15日の音楽授業公開の第4学年の授業 -、中国四国教育学会、2016年11月6日、鳴門教育大学
三村 真弓、吉富 功修、長澤 希、聴取力の発達に関する研究 - 音高と音色に着目して -、中国四国教育学会、2016年11月6日、鳴門教育大学

三村 真弓、汎用的資質・能力の基礎をばぐくむ幼小接続期カリキュラムの開発 - 異校種教員同士の意識改革を進める学校園経営の在り方 -、H28年度中国地区国公立幼稚園・こども園連盟教育研究大会、2016年10月28日、赤磐市立中央公民館

吉富 功修、三村 真弓、岡山県倉敷市立茶屋町小学校における「ふしづくりの教育」 - 明楽節夫教諭による第5学年の実践(昭和52年) -、日本教科教育学会第42回全国大会、2016年10月22日、鳴門教育大学

吉富 功修、三村 真弓、「ふしづくりの教育」の授業研究 - 第2学年・田中千鶴教諭の授業を対象として -、日本音楽教育学会第47回大会、2016年10月8日、横浜国立大学

三村 真弓、吉富 功修、岐阜県下羽栗小学校における「ふしづくりをとりいれた音楽教育」 - ひとりだちのできる 学習指導をめざして -、日本音楽教育学会第47回大会、2016年10月8日、横浜国立大学

吉富 功修、三村 真弓、「ふしづくりの教育」の授業研究 高山市立西小学校第

5学年・長尾教諭の授業を対象として、音楽学習学会第12回研究発表大会、2016年8月25日、九州女子大学

Mayumi MIMURA, Shin ITO, Sachiko KITANO, Ryo HASAGAWA, Katsunobu YOSHITOMI, Aya Yamanaka, "The Kindergarten to Elementary School Transition Curriculum of Hiroshima Univ. Laboratory Schools, Mihara: Focusing on building generic capacities and attitudes." The 17th PECERA Annual Conference (国際学会), 2016年7月7日、タイ・チュラロンコン大学

三村 真弓、音楽能力発達の至適時期、日本発育発達学会(招待講演)、2016年3月6日、神戸大学

⑲ 池田 明子、井上 弥、三村 真弓、幼小接続期におけるカリキュラムの開発 - 小学校授業参加において幼稚園教員が認識した共通点・差異点に着目して -、日本乳幼児教育学会、2015年11月29日、昭和女子大学

⑳ 吉富 功修、三村 真弓、長澤 希、岡山県における「ふしづくりの教育」 - 倉敷市立茶屋町小学校第1学年の実践(昭和52年) -、中国四国教育学会第67回大会、2015年11月15日、岡山大学

㉑ 三村 真弓、吉富 功修、伊藤 真、別府祐子、音楽能力テストに関する研究 - 聴取力と感受する力の関連性に着目して -、中国四国教育学会第67回大会、2015年11月15日、岡山大学

㉒ 吉富 功修、三村 真弓、伊藤 真、八木正一、長澤 希、岡山県における「ふしづくりの教育」 - 倉敷市立茶屋町小学校での第5学年の実践を中心として -、日本教科教育学会第41回全国大会、2015年10月25日、広島大学

㉓ 三村 真弓、ラウラ・アスパウレヤ、カルメン・ナヘラ・ムルガダヤ、吉富 功修、伊藤 真、ジュゼップ・フェラン・ガリシア、子どもが育つ音楽教育(2) - ペラアントン校におけるウィレムの聴取力指導、及び即興ダンス -、日本音楽教育学会第47回大会、2015年10月4日、フェニックス・シーガイア・リゾート

㉔ 吉富 功修、三村 真弓、八木 正一、長澤 希、岡山県倉敷市立茶屋町小学校における「ふしづくりの教育」 - 第1学年の実践(昭和52年) -、日本音楽教育学会第46回大会、2015年10月3日、フェニックス・シーガイア・リゾート

㉕ JOSEP FERRAN, LAURA ESPAULELLA, ANNA FARRÉS, MAYUMI MIMURA, KATSUNOBU YOSHITOMI, MIHO IMOTO, SHIN ITO, "Interdisciplinary project: "Alfresco Concert" - Primary research in the Pereanton school of

Granollers; Catalonia”, EECERA ANNUAL CONFERENCE (国際学会), 2015年9月8日, バルセロナ自治大学
⑳ 吉富 功修、八木 正一、三村 真弓、伊藤 真、長澤 希、岡山県における「ふしづくりの教育」(1) - 岡山県倉敷市立茶屋町小学校における実践(1) -、音楽学習学会第11回研究発表大会、2015年7月18日、茨城大学

〔図書〕(計 1件)

吉富 功修、三村 真弓、伊藤 真、水崎 誠他 27名、ふくろう出版、小学校音楽科教育法 - 学力の構築をめざして -、2017、242

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

吉富 巧修 (YOSHITOMI、Katsunobu)
広島大学・教育学研究科・名誉教授
研究者番号：20083389

(2) 研究分担者

三村 真弓 (MIMURA、Mayumi)
広島大学・教育学研究科・教授
研究者番号：00372764

伊藤 真 (ITO、Shin)
広島大学・教育学研究科・准教授
研究者番号：70455046

水崎 誠 (MIZUSAKI、Makoto)
東京学芸大学・教育学部・准教授
研究者番号：50374749

(3) 連携研究者

(4) 研究協力者

藤原 志帆 (FUJIHARA、Shiho)
福島 さやか (FUKUSHIMA、Sayaka)
長澤 希 (NAGASAWA、Nozomi)
松下 友紀 (MATSUSITA、Yuki)